

群馬県鉱工業指数

令和6年9月分

1. 公表内容

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業、輸送機械工業などが上昇したことから、2か月ぶりのプラスとなった。

○概況

生産、出荷、在庫はすべて上昇で推移

◆9月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年=100）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生産	139.1	39.8	2か月ぶり+	137.5	26.0	5か月連続+
出荷	109.6	7.8	2か月ぶり+	112.6	▲0.8	2か月連続-
在庫	172.3	29.4	3か月ぶり+	159.5	7.6	12か月ぶり+
在庫率	137.8	9.2		120.1	▲11.4	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのプラス、原指数で、5か月連続のプラスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのプラス、原指数で、2か月連続のマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、3か月ぶりのプラス、原指数で、12か月ぶりのプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種 ()内は前月比

<生産> 上昇: 化学工業 (272.8%)、輸送機械工業 (20.0%)

<出荷> 上昇: 輸送機械工業 (14.4%)、生産用機械工業 (26.5%)

<在庫> 上昇: 化学工業 (79.5%)、食料品工業 (14.8%)

○前月比が最も大きかった業種

<生産> 上昇: 化学工業 (272.8%) / 低下: 鉱業 (▲21.9%)

<出荷> 上昇: 木材・木製品工業 (35.9%) / 低下: 鉱業 (▲11.8%)

<在庫> 上昇: 化学工業 (79.5%) / 低下: 輸送機械工業 (▲47.2%)

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和6年12月20日予定

令和6年9月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	化学工業	31.5	272.8	医薬品製剤	
		輸送機械工業	4.6	20.0	普通乗用車	自動変速装置
		電気機械工業	1.2	10.4	半導体・IC測定器	
		プラスチック製品工業	0.9	12.0	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製シート
		食料品工業	0.8	4.3	清涼飲料	
	低下	汎用機械工業	▲ 0.3	▲ 6.0	ショーケース冷凍機別置形	ショーケース冷凍機内蔵型
		鉄鋼業	▲ 0.3	▲ 11.5	中形棒鋼	特殊鋼熱間圧延棒鋼
出荷	上昇	輸送機械工業	5.0	14.4	普通乗用車	自動変速装置
		生産用機械工業	0.8	26.5	研削盤	金型
		電気機械工業	0.5	5.8	半導体・IC測定器	開閉制御装置
	低下	食料品工業	▲ 0.7	▲ 4.4	菓子	清涼飲料
		情報通信機械工業	▲ 0.1	▲ 7.6	端末装置	
在庫	上昇	化学工業	31.4	79.5	医薬品製剤	
		食料品工業	1.2	14.8	清涼飲料	
		金属製品工業	0.4	18.4	飲料用アルミニウム缶	スチール・ステンレス製建具
	低下	汎用機械工業	▲ 0.8	▲ 6.8	コンデンシングユニット(7.5kW以上)	コンデンシングユニット(7.5kW未満)
		輸送機械工業	▲ 0.4	▲ 47.2	普通乗用車	トレーラ

(注)寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

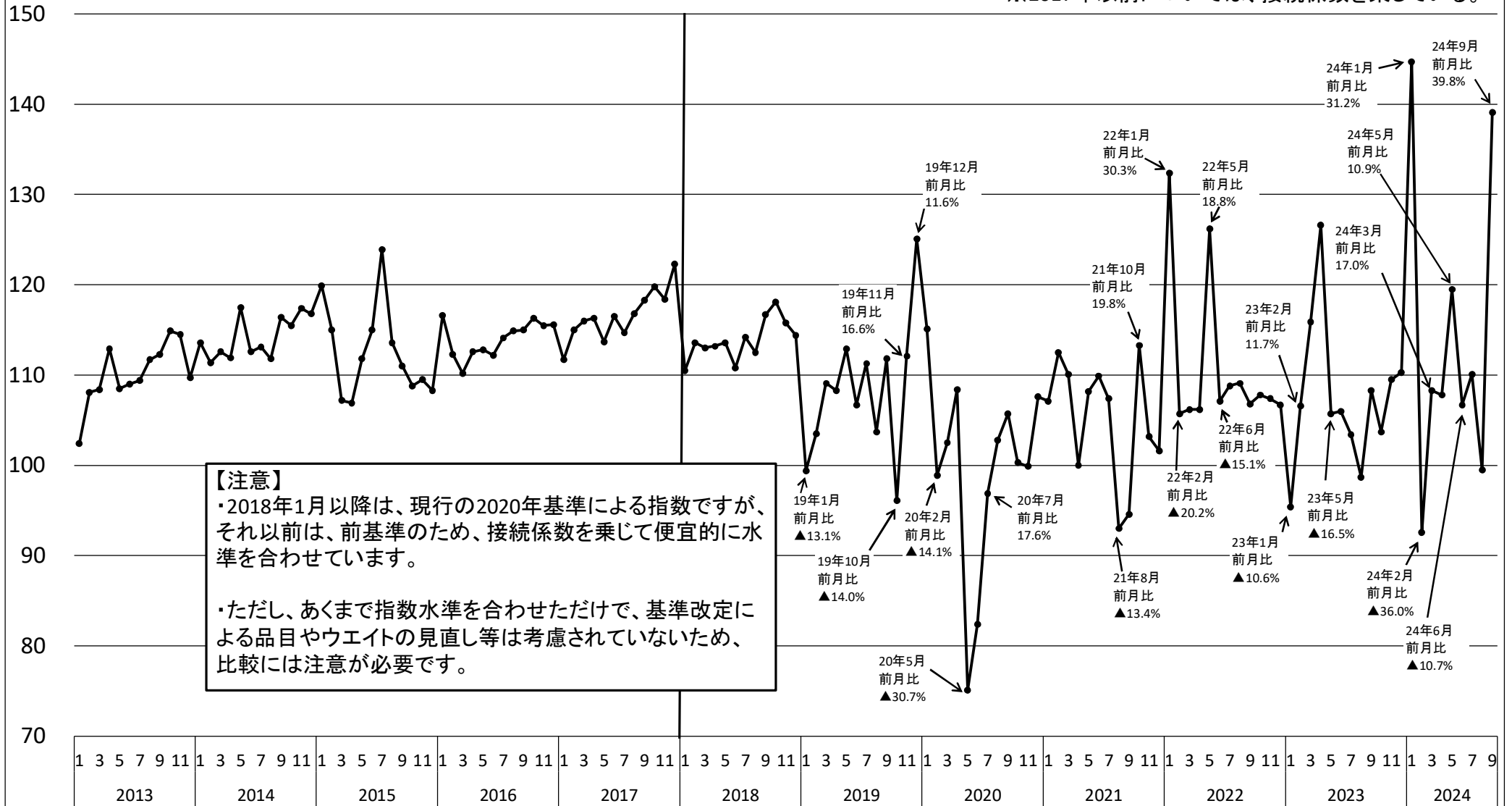
○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	化学工業	31.5	272.8	医薬品製剤
	低下	鉱業	▲ 0.0	▲ 21.9	石灰石
出荷	上昇	木材・木製品工業	0.1	35.9	製材
	低下	鉱業	▲ 0.0	▲ 11.8	石灰石
在庫	上昇	化学工業	31.4	79.5	医薬品製剤
	低下	輸送機械工業	▲ 0.4	▲ 47.2	普通乗用車

○群馬県鉱工業指数の動き

生産指数(季節調整済)

2020年=100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。

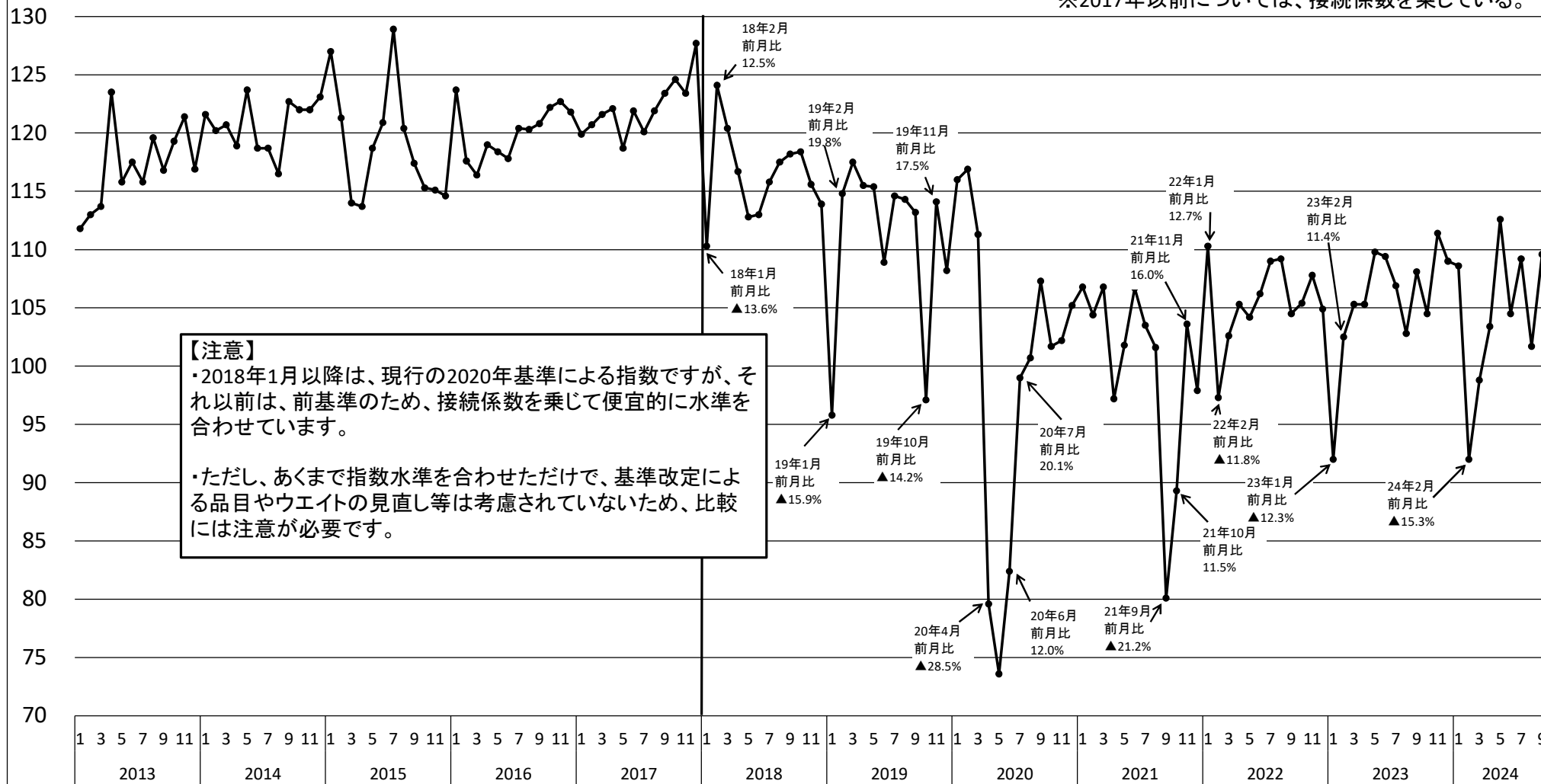


2015年基準：2013年～2017年 2020年基準：2018年～2022年 2025年基準：2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

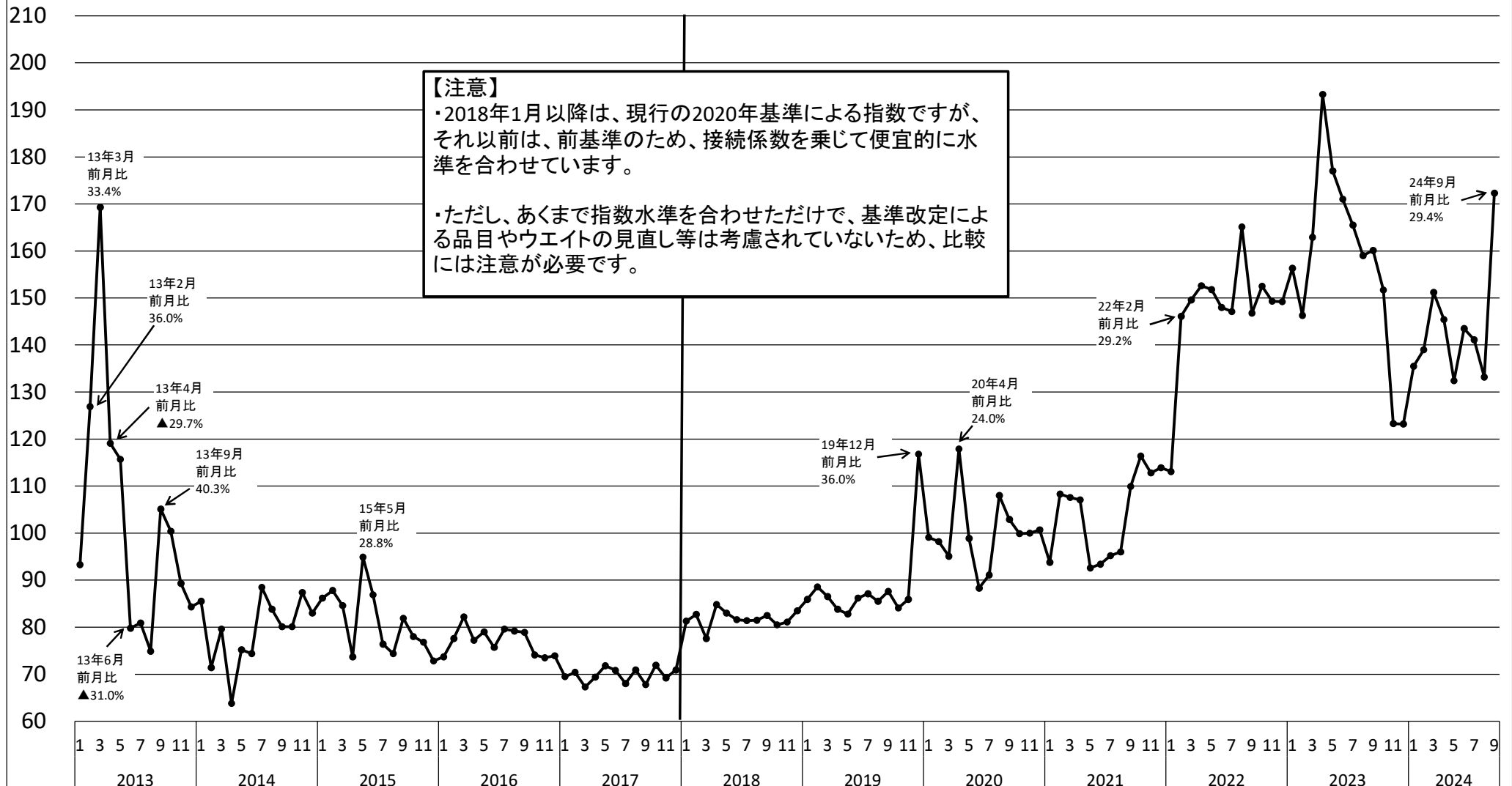
2020年=100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。



2015年基準:2013年~2017年 2020年基準:2018年~2022年 2025年基準:2023年~2027年(予定)
 ※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年=100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。

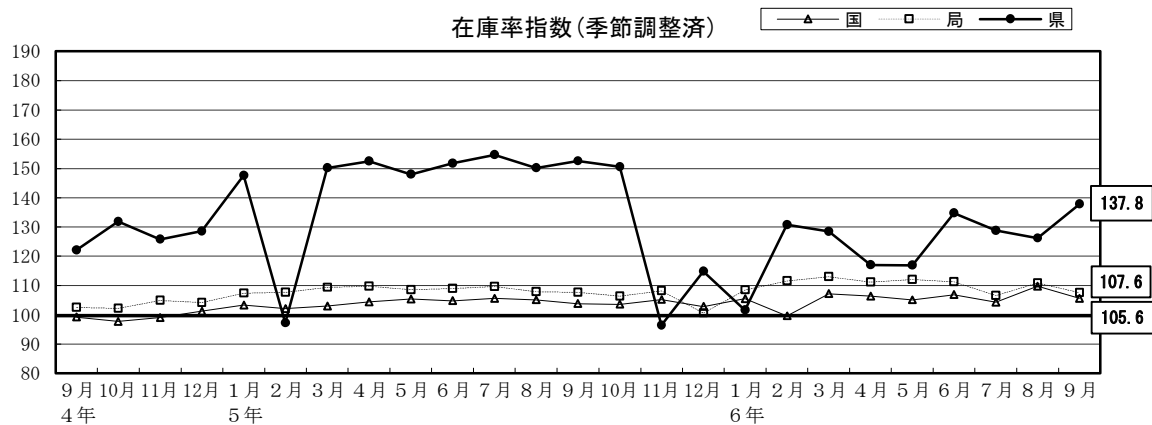
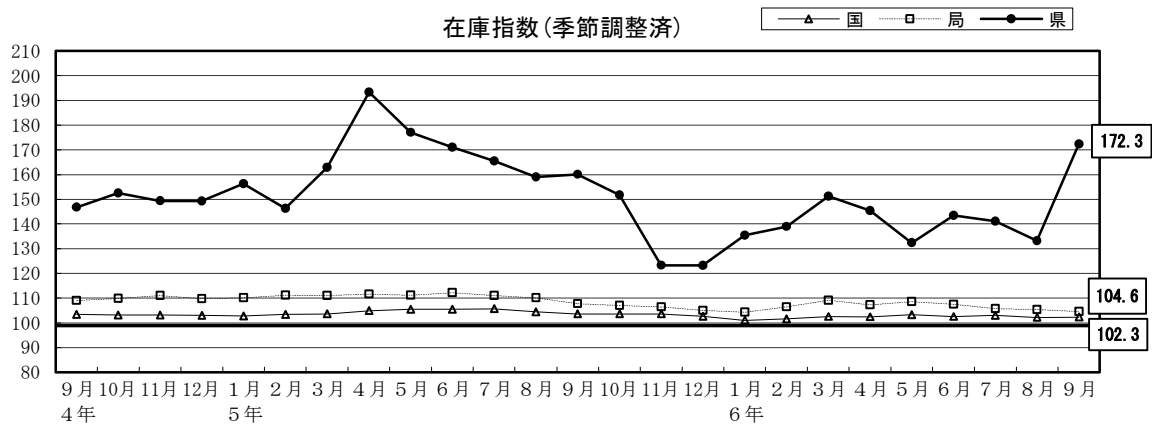
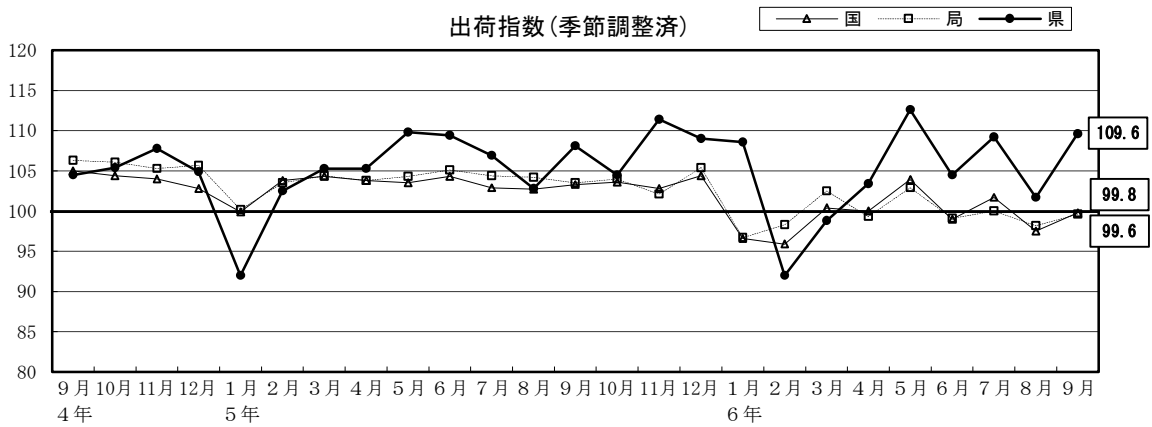
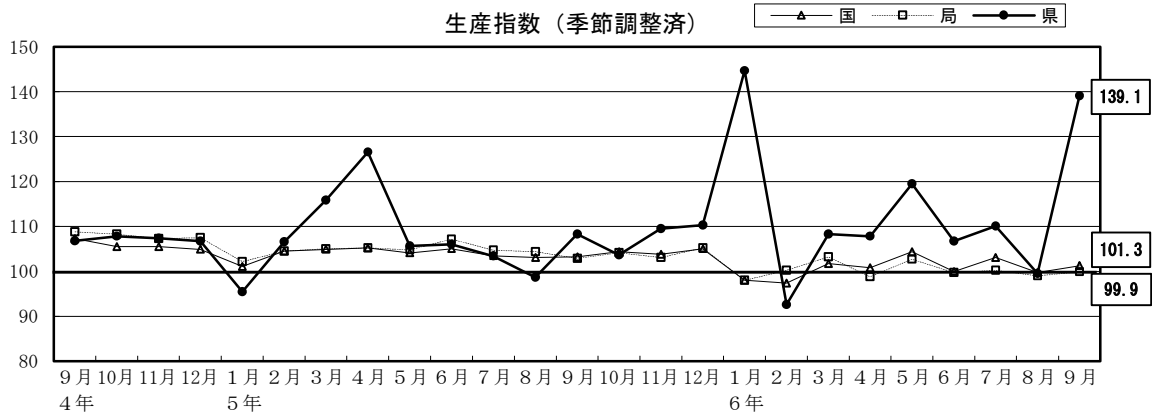


2015年基準:2013年~2017年 2020年基準:2018年~2022年 2025年基準:2023年~2027年(予定)

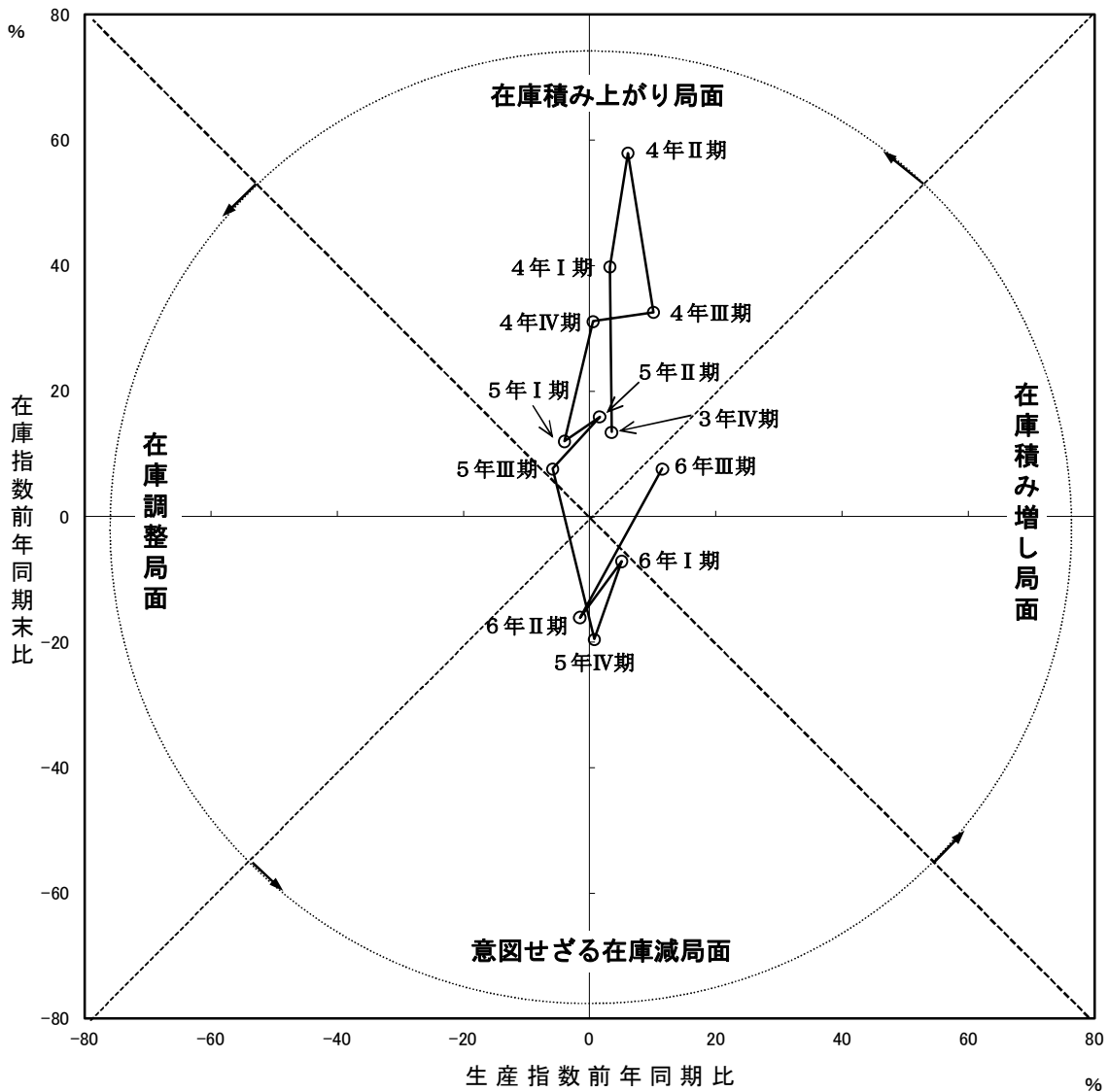
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100



○ 在庫循環図



意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)	需要が回復し、出荷が増加し始めるが、生産は停滞しており、在庫は減少する。
在庫積み増し局面 (景気拡大期)	生産、出荷ともに好調に推移し、減少していた在庫も積み増しされる。
在庫積み上がり局面 (景気後退初期)	生産に比べ、出荷が減少し始め、在庫が積み上がる。
在庫調整局面 (景気後退期)	生産を調整することによって、在庫が減少する。